

女子団体追い抜き

# 高木、押切4位

【ソチ時事】ソチ冬季五輪第16日は22日、スピードスケート女子団体追い抜きが行われ、日本（押切美沙紀＝富士急＝駒大苫小牧高、中札内中出し、田畑真紀＝ダイチリ、高木菜那＝日本電産サンキョー＝南商高出）は3位決定戦でロシアに敗れて4位に終わり、スピードスケートは2大会ぶりのメダルなしとなった。アルペンスキーの男子回転では、湯浅直樹（スポーツアルペンク）、佐々木明（ICI石井スポーツ）とも2回目途中で棄権。スノーボード女子パラレル回転の竹内智香（広島ガス）は決勝トーナメントで1回戦敗退。ノルディックスキー距離女子30キロフリーの石田正子（JR北海道）は23位だった。



フィギュアスケートのエキシビションも行われ、男子で日本初の金メダルを獲得した羽生結弦（ANA）

## スピード 日本勢メダルなし

【ソチ時事】ソチ五輪のスピードスケートは22日で終わり、日本は女子団体追い抜きも4位に敗れ、2大会ぶりのメダルなしとなった。目標の「金を含む三つ

スピードスケート女子団体追い抜き3位決定戦で力走する（左から）田畑真紀、高木菜那、押切美沙紀＝22日、ロシア・ソチ（時事）

が登場し、華麗な演技を披露した。町田樹（関大）、高橋大輔（関大大学院）、浅田真央（中京大）も出演した。  
2020年東京五輪・パラリンピック開催に向けて、視察に訪れた舩添要一東京都知事は、スピードスケートを観戦した。



ソチ五輪関連4、5、21面  
・「ものすごい差」  
・町民栄誉賞に

も驚異的な滑りを見せ、計4種目で表彰台を独占した。ロシアなども伸びてきて、日本はかなわなかった。今後の展望も開けなかった。17人中10人が初出場だったが、多くは20代半ば。若手が出た男子中長距離も世界との差の大きさを確認した。4年後に長島、

加藤が現役でも、この2人で強化していかないと次は頼るわけにはいかない。石幡忠雄強化部長は「若手を育てられず残念。連う形だ。」

以上のメダル」には遠く及ばなかった。

最も期待された男子5000では長島圭一郎（日本電産サンキョー＝日大、池田高出）、加藤条治（日本電産サンキョー）の滑りは悪くなく、メダル争いに加わると踏んでいたタイムを出したが、5、6位。女子でも小平奈緒（相沢病院）が5000で5位に入っただけ。オランダ勢が男女と